

2025年8月8日(金)25年度第3回全体会員交流懇親会を開催しました。



【一柳理事長】

2025年8月8日(金)、会員総勢60名が一堂に会し、第3回全体会員交流懇親会が開催されました。

一柳理事長は私用により途中退席となりましたが、当社団理事の吉田真貴子様の講話をはじめ、会員スピーチやイベント・交流タイムなど充実したプログラムを通じて、ご参加の皆様が学びと交流の充実した時間を過ごすことができました。

冒頭、一柳理事長からの開催挨拶では、週刊文春への書籍広告にかかる「文春砲？」の冗談話から会場の大爆笑を誘いつつ、日本の未来づくりに熱意ある様々な分野の方々を集め、社団を盛り上げていく旨を宣言されました。

続いて、社団発足時より理事に就任いただいている斉藤惇様からご挨拶いただきました。その中で、「商品を作る部分は海外に移っていくのが常。今後は新しい産業を『開拓』し、新しい日本を創るのだ。」と、新しいものを後世に残していくという強い使命感を訴えられました。



【斉藤理事】

次に、当社団監事の酒井弘行様より、ブロックチェーン技術の大きな可能性を例に挙げ、新たな技術チャンスを見出し積極的に活用する重要性についてお話しいただいた後、乾杯のご発声をいただき和やかな空気に包まれて幕を開けました。



【酒井監事】



【吉田理事】

お食事とご歓談を挟み、当社団理事の吉田真貴子様より「広報」をテーマとしたご講話を頂戴いたしました。内閣広報官などのご経験を通して実感された、戦略的な広報の重要性について力説されました。企業成長を実現するべく、いかにステークホルダーに「広報」していくか。SNS時代に経営トップはどう立ち回るべきかなど具体事例を交えた吉田様の語り部に、皆さん熱心に耳を傾けていました。

参加された会員の方からは「示唆に富む実践的なお話で大変役に立つものでした。広報メンバーのモチベーションアップにもなるような内容が盛り沢山でした。」といった感想が寄せられました。



【会場風景】

続いて、全体交流懇親会に初参加者 11 名による 1 分スピーチ、および遠方からお越しいただいた方を中心とした 5 名による近況報告が行われました。理事・監事の方々から選出されたスピーチ優秀者 4 名には景品（社団ネーム入りポーチ）が贈呈され、会場は大いに盛り上がりました。



【会員スピーチ】



【スピーチ優秀者へプレゼント贈呈】

恒例のじゃんけん大会では、理事長不在時の代行役を務める永峯専務理事から、会員全員参加で最後に勝ち残った 3 名の方に景品（カレーセット）が贈呈され、会場は熱気に包まれました。



【じゃんけん大会】



【じゃんけん勝者へ景品贈呈】

イベント終了後、永峯専務理事から、会員数が 125 名となった旨の報告とお礼、今後の活動日程や小規模交流会の案内方法の再確認のお知らせがありました。その後は恒例の席を離れた交流タイムに入り、各所で活発な議論が交わされ、時間を忘れるほどの盛り上がりを見せました。



【田和理事】

中締めは当社団理事の田和宏様からご挨拶と一本締めの音頭をお執りいただきました。ご挨拶では、地方で感じた「我を張る空気感」を共有しつつ、地方へのブレイクスルーの必要性を説かれ、一本締めでは、一柳理事長ならびに会員皆様のご健勝、そして社団の益々の発展を祈念し、ご発声は高らかに轟きわたり会場は笑顔と拍手の渦の中で終了となりました。



【懇親会の様子】



【『一柳良雄が問う 日本の未来』のタイトルコールのポーズで記念写真】